



京都ノートルダム女子大学 人間文化学科 主催 公開講演会 心に響く話しことば

人間文化学科は2012年度より話しことば教育プログラムを始めました。自分の思いや気持ちを、伝えたい。学びや体験を人と共有したい。本学の話しことば教育プログラムは、人と人をつなぎ、大学の学びを社会で活かす方法を実践的に身につける創造的なカリキュラムです。

これを記念し、一般の市民の方々に向けての公開講演会を実施します。本学の客員教授、お二人を迎えての講演会に、ぜひお越しください。

日時:2012年10月13日(土) 13時10分開場、13時30分開演

場所:京都ノートルダム女子大学 ユニソン会館

申込不要、参加無料

後援:京都新聞社、京都市教育委員会

「声にのせて心をとどける」本学客員教授 浜尾 朱美

(TBS「ニュース23」のキャスターを故・筑紫哲也氏とともに務めた(1989~1997)ほか、多数の番組に出演。2012年4月本学の客員教授に就任。早稲田大学卒業。)

言葉は心を届ける道具です。その道具をうまく使いこなすには、まず、自分のほんとうの声を知ることが必要です。人気報道番組のキャスターを長年務め、現在も朗読ボランティアなど幅広く活動している浜尾朱美教授が、話しことばと向き合ってきた歳月を語ります。



「伝わる話しことば」本学客員教授 松岡 正美

(「きょうの健康」元キャスター。医療、福祉、CSRを専門に多数の番組に出演。2012年4月本学の客員教授に就任。NHK関連会社に勤務。本学英語英文学科卒業。)

説明をすることばと思いを伝えることばの違いとは?伝える方法によって相手に届くメッセージが変わります。「伝わる話しことば」の心とテクニックをご紹介します。職場、友人、家族のコミュニケーションについて共に考える機会になれば幸いです。



「話しことば教育プログラム」担当責任者 本学専任講師 平野 美保

(エフエムおかざき元キャスターなどを経て司会・ナレーション関連会社を起業。2012年4月より本学講師に就任。「日本語の朗読」「プレゼンテーション演習」「スピーチの基礎」の科目を担当し、話しことば教育プログラムを推進している。博士(教育)。)

